



八重山毎日新聞(石垣)

Yaeyama Mainichi Shimbun
(Ishigaki)

2024.11.27(水)

(発売日:2024年11月27日)

(8 頁)
面名なし

W W F

F3387

県に慎重な判断求める 樽舞湿原の港湾整備計画で



重要湿地に指定されている樽舞湿原
=2023年3月16日

与那国町が特定利用空
港・港湾に伴う新港湾建設
が樽舞湿原周辺で計画され
ている件で、世界自然保護
基金(WWF)ジャパンは
25日、整備の実施の可否を
判断する沖縄県に対して慎

重な判断を求める声明を発
表した。
与那国町は県に対し、国
が特定重要拠点空港・港湾
候補の一つとしている比川
地区のカタル浜から樽舞
湿原周辺で新港湾整備計画

の実施を要請しており、県
は実施の可否について検討
中としている。
WWFは計画の予定地が
国の重要湿地に選定されて
いるほか、鳥獣保護区にも
指定されている樽舞湿原の

全域を含んでいることや比
川地区沿岸の貴重なサンゴ
礁域に及んでいることから
十分な配慮を訴えている。
声明では▽本計画の予定
地が、国が選定した重要湿
地を含み、希少種を含めた
野生動植物の生息・生育地
となっていること▽現状の
生物多様性、および野生動
植物の生息・生育調査が十
分に実施されていないこと
▽軟体動物多様性学会をは
じめとする専門家から開発

計画に対し懸念の声が上
がっていること▽生物多様
性に深刻な影響をもたらす
可能性が高いこと―の4点
を挙げ、「県は、予定地周
辺における動植物の生息・
生育状況を十分に調査し、
その結果を踏まえて事業実
施の是非、もしくは重要な
生息・生育地の保全に十分
な配慮をしたものに計画内
容を見直すことについて慎
重に判断する必要がある」
と指摘している。